



へいわをつくらう！

へいわをじつげんするひとびとは、さいわいである、
そのひとたちはかみのことよばれる。(マタイ 5・9)



イエスさまのまわりには、たくさんのひとが あつまりました。
イエスさまは、さらに たかいところに のぼりました。「ほんとうのしあわせ」について はなしたかったのです。でも、それは みんなが かんがえていたこととはちがいました。



そのころのひとたちは、「おかねや ものを たくさんもっていること」がしあわせだとおもっていました。だから おかねも ちのひとたちは、びんぼうなひとを あまり たすけませんでした。けれども、イエスさまは いいます。



「ほんとうに しあわせなひととは、こころが やさしくて、ただしいことをしようとするひとです。こまっているひとを たすけて、けんかをせず、へいわをつくるひとです。」そのひとは、かみさまに しゅくふくされて、「かみのこ」とよばれるでしょう。



あるひ、パキスタンのサミナの がっこうでは、さいごの じゅぎょうは ずこうでした。みんなは すこしつかれていました。なんにんかのこどもたちは、あそびはじめて、きょうしつを ちらかしてしまいました。



サミナは かなしいきもちになりました。せんせいは そのとき いまいませんでしたが、すぐにもどってきそうでした。サミナは みんなに「やめようよ」といいました。
ジェン4とは、キアラ・ルーベックが創立したフォコラーレの子どもたちです。
© PAFOM, フォコラーレ www.focolare.org. イラストと文-ジェン4センター監修



でも、みんなは はんたいして けんかになりそうでした。サミナはもつとかなしいきもちになりました。それでも、たたかわずに みんなをあいするようになりました。すると すこしずつきょうしつにへいわがもどり、みんなが あやまってくれました。みんながまた ともだちになれて、サミナも みんなもうれしいきもちになりました。